

フェーズフリー認証を受けた役場併設の複合機能施設での防災訓練は、全国初の取り組み

小清水町防災拠点型複合庁舎「ワタシノ」が フェーズフリー機能を検証する防災訓練を実施



小清水町防災拠点型複合庁舎「ワタシノ」 「2024年度グッドデザイン賞」2024 グッドデザイン賞 / 「PHASE FREE AWARD 2024」シルバー

北海道小清水町が公民連携で取り組む小清水町防災拠点型複合庁舎「ワタシノ」は、2025年1月26日（日）に本施設初となる全館停電を伴う防災訓練を実施します。フェーズフリー認証を受けた役場併設の複合機能施設での防災訓練としても、全国初の取り組みです。

「ワタシノ」は2023年4月に開業し、日常時・災害時の居場所づくりで、町のにぎわいと持続可能なまちづくりを目指しています。2018年の北海道胆振東部地震によるブラックアウトを受け、これまで以上に町民が安全・安心に暮らせる「災害に強いまちづくり」が重要と考え誕生しました。「フェーズフリー」の概念を取り入れ、日常生活を豊かにし人々が集える機能（にぎわいエリア：コミュニティスペース、カフェ、ランドリー、フィットネスジム&スタジオ）を役場庁舎に併設。災害時は防災拠点になり、災害対策本部、炊き出し、洗濯、シャワーの利用、および一時避難所として活用できる、役場に併設した複合機能施設としては、全国初のフェーズフリー認証施設です。

本訓練では全館停電を実施し、施設停電時の運営手法の確認、一時避難所としての初動対応、避難訓練を通して、非常時におけるフェーズフリーの機能性や、避難者がストレスなく利用できるかを検証します。訓練で浮かびあがった課題は、小清水町および施設運営をになうNPOと連携企業により改善し、安全安心なまちづくりにつなげていきます。

また、災害時や復旧・復興には、[近所の人との助け合い等「共助」による災害被害軽減のための取り組みが必要](#)と言われています。「ワタシノ」ではにぎわいエリアの日常時利用や季節イベント参加を通して、役場職員と町民、町民同士の交流機会を創出。オープンして1年間、施設利用者（役場とにぎわいエリアの利用者）はオープン前の役場利用時と比べて25倍になり、顔が見えるコミュニティづくりが進んでいます。本訓練を通して、共助文化も育んでいきます。

※「フェーズフリー」とは、身のまわりにあるモノやサービスを「日常時」と「非常時」というフェーズ（社会の状態）をフリーにし、日常時はもちろん、非常時にも役立てることができるという考え方です。

防災訓練 実施概要

会場 防災拠点型複合庁舎「ワタシノ」（小清水町元町2丁目1番1号）

日時 令和6年1月26日（日）8:00～11:20

取材申し込み先 小清水町役場総務課 0152（62）4470

防災訓練スケジュール（予定）

時間	訓練内容	概要
8:00	停電時運営訓練	・施設の電力供給を断ち、非常用発電機のみで運営 ・停電時の施設運営方法の確認
9:00	自主避難訓練 避難勧告による避難訓練	・住民の方が自宅から「ワタシノ」まで避難 ・自主防災組織と連携し、避難勧告による避難訓練
9:40	開会式	
9:55	一時避難所活用法の説明	・避難者へ当施設の災害時の活用方法の説明
	負傷者搬送訓練 屋内消火栓使用訓練	・消防職員から役場職員へ、負傷者の搬送方法及び屋内消火栓使用方法の講習
10:30	施設火災による避難訓練	・火災発生を想定した屋外への避難訓練 ・町民の誘導、負傷者の避難援助、模擬消火
10:55	炊き出し訓練	・NPO法人による簡易な炊き出し訓練

小清水町に気象警報が発表される可能性が高い場合は訓練を中止します。中止の決定は、1月25日（土）の正午までにホームページで連絡します。また、内容は予告なく変更・中止・延期になる場合があります。

「ワタシノ」のフェーズフリー対応について

フェーズフリーの考え方

日常時から使用している施設が、非常時に一時避難所や災害対策本部の役割を果たします。フィットネスジム&スタジオでは避難者を受け入れ、コミュニティスペースやカフェは炊き出しに、ランドリーの非常用水や非常電源は衣類洗濯などの衛生保持に活用。また、温泉熱を利用した床暖房で万が一停電になっても暖かく過ごせます。いつもの居場所が、避難者のストレスや避難生活の負担を軽減し、安心安全を守ります。

日常時

役場庁舎には、地域住民アンケートにより要望の高かった機能を導入することで日常時の利用機会が増える。年代を問わずに気兼ねなく施設を利用でき、地域住民のコミュニティの場となっている。

フィットネスジム&スタジオ



初めての方からしっかりトレーニングされたい方まで、楽しく身体を動かすことができるジム&スタジオ。

コミュニティスペース、カフェ



地元の食材を使った料理とともに各々の時間や活動を楽しめるスペース。

ランドリー



家庭では難しい、質の高い洗濯サービスを提供するスペース。

非常時

本来持つ基本機能が、非常時に別の用途や機能でフェーズフリーの価値を発揮。役場と併設しているため、災害発生時の住民避難に対し迅速な対応が可能となる。

〈一時避難場所〉

暖かな避難スペースやシャワーの提供。

〈炊き出しスペース〉

避難者が食事や休憩することができる共用スペースとして機能。

〈衛生環境の保持〉

貯水と非常用電源を利用した衣類洗濯の場として機能。

防災監修：一般社団法人フェーズフリー協会

「ワタシノ」 連携企業と役割一覧

事業者	北海道小清水町
にぎわいエリア運営管理	NPO法人グラウンドワークこしみず
にぎわいエリア運営サポート	小清水町商工会
にぎわいエリア企画監修、フィットネスジム&スタジオ監修	株式会社ルネサンス
カフェ企画、ランドリー監修	株式会社OKULAB
建築設計	株式会社アトリエブंक
にぎわいエリア企画、空間/VIデザイン、開業PR	株式会社乃村工藝社
カフェ監修	株式会社カロリー
ボルダリングウォール監修	株式会社モンベル
DX監修	株式会社イーベース・ソリューションズ
防災監修	一般社団法人フェーズフリー協会